

## 2025年度 授業コード: 21110600

授業科目	公衆衛生看護技術論				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	鹿毛 美香										
授業概要	保健師として保健看護活動を行ってきた実務家教員が担当し、その実務経験より得た知識、技術等を活かして、教授する。地域で生活する個人・家族や対象集団等を対象とした公衆衛生看護の支援技術を学び、活動対象の健康課題に対する具体的な展開・実践方法（保健指導、健康相談、健康診査、家庭訪問、健康教育）について学習する。加えて、地域のグループ・組織の種類と特徴を概説し、各々の発展過程と支援技術及び保健師とのパートナーシップと協働について解説する。講義では、一部 PBL（課題解決型学習）、グループワークを取り入れ進めていく。										
授業形態	対面授業	授業方法	グループワーク、PBL（課題解決型学習）、classroom の活用								
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<p>公衆衛生看護活動に必要な基本的な知識を修得し、授業で提示された事例について検討できる。また、同じ健康課題を有する対象集団への健康教育の展開過程を理解し、立案した企画指導案をプレゼンテーションできる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生看護の機能と技術を説明できる。（DP1-2、DP2-1）</li> <li>2. 対人支援に用いる主な支援技術を説明できる。（DP1-2、DP2-1）</li> <li>3. 個人・家族や対象集団等を対象とした支援方法と技術を説明し、一部を実践できる。（DP1-2、DP2-1、DP3-2、DP4-2）</li> <li>4. 地区組織活動に対する支援方法と技術を説明できる。（DP1-2、DP2-1）</li> <li>5. 地域ケアシステムの構築に必要な要素とネットワーク化の概要を説明できる。（DP1-2、DP2-1）</li> <li>6. 地域の健康課題解決に向けた集団への健康教育を企画しプレゼンテーションできる。（DP1-2、DP2-1、DP3-2、DP4-2）</li> </ol>										
理想的レベル	標準レベルに加え、個/家族、集団、グループ・地域組織への支援の実際について雑誌やインターネットで調べ学習し理解を深めることができる。										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	55										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）	20				11 回目：健康教育の企画指導案						
レポート外の提出物	25				ワークシート（調べ学習）等						
その他											
<b>カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング</b>											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21503J
<b>学習課題（予習・復習）</b>										1 回の目安時間（時間）	

授業時に提示した学習課題について、文献などを読み、疑問点、授業外で調べたことをノートにまとめる。	4
<b>授業計画</b>	
第1回	公衆衛生看護における機能と技術（鹿毛） ・公衆衛生看護に求められる機能と技術および保健師が行う保健指導について解説する。
第2回	公衆衛生看護における対象の理解（鹿毛） ・公衆衛生看護の対象（個人・家族、グループ・組織、地域）が抱える健康課題への支援について解説する。
第3回	公衆衛生看護の基盤となる理論（鹿毛） ・保健指導・健康教育で活用できる理論や地域活動の理論・方法論を解説する。
第4回	対人支援活動の展開①対人支援の基本と健康相談・保健指導（鹿毛） ・カウンセリングやコーチングを踏まえ、健康相談、保健指導の特徴やその展開について解説する。
第5回	対人支援活動の展開①健康診査（鹿毛） ・ライフサイクル別（乳幼児期～成人高齢期）の健康診査の目的や特徴やその展開について解説する。
第6回	家庭訪問による支援の展開（1）（鹿毛） ・家庭訪問の機能および対象特性に応じた家庭訪問の展開過程などについて解説する。
第7回	家庭訪問による支援の展開（2）（鹿毛） ・家庭訪問による支援の実際およびアウトリーチとしての家庭訪問、訪問拒否への対応について解説する。 ・家庭訪問における保健指導を一部体験する。（グループワーク）
第8回	家庭訪問による支援の展開（3）（鹿毛） ・家庭訪問による支援の実際および継続訪問における保健師の支援役割について解説する。 ・家庭訪問における保健指導を一部体験する。（グループワーク）
第9回	健康教育の展開（1）（鹿毛） ・健康教育の方法と特徴および教育技術について2年次『健康教育論』の学習を振り返りながら解説する。
第10回	健康教育の展開（2）（鹿毛） ・地域の健康課題解決に向けた集団への健康教育の企画・指導案の作成について解説する。 ・健康教育の企画・指導案を作成する。（グループワーク）
第11回	健康教育の展開（3）（鹿毛） ・ICTを用いた保健指導・健康教育の特徴について解説する。 ・健康教育の企画・指導案のプレゼンテーションと相互評価活動をする。（グループワーク）
第12回	地区組織活動の展開（1）（鹿毛） ・地区組織活動の展開と保健師の支援について解説する。
第13回	地区組織活動の展開（2）（鹿毛） ・地区組織活動支援の実例とわが国の地区組織活動の歴史について解説する。
第14回	地区組織活動の展開（3）（鹿毛、北九州市保健福祉局健康教育担当係長） ・地域の健康課題解決に向けた地域組織活動と支援の実際について解説する。

第15回	<p>地域ケアシステムの構築とネットワーク化（鹿毛）</p> <p>地域ケアシステムの構築に必要な要素、ネットワーク形成とケースマネジメントについて解説する。</p>
テキスト	<p>・中村裕美子他著：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術，医学書院。</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>・保健師ジャーナル 医学書院</p> <p>・上野昌江他著：公衆衛生看護学，中央法規。</p> <p>・宮崎美砂子：最新公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会</p> <p>・村島幸代：最新保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社</p> <p>・麻原きよみ：公衆衛生看護学テキスト 公衆衛生看護技術 医歯薬出版株式会社</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>試験の結果は、成績発表後に評価点分布図を提示します。</p> <p>ワークシート（調べ学習）等は、コメントをつけて返却します。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>将来、保健師として活動する場合に必要な標準的な事例を取り上げていますので、公衆衛生看護活動に興味を持ち、課題解決に向けた主体的学習参加を期待します。</p> <p>地域の公衆衛生看護活動が映像と合わせて数多く紹介されていますので、関心・興味がある内容については雑誌(*1)を読んだり、動画配信サイトにアクセスして理解を深めてください。</p> <p>また、本科目では2年次前期「公衆衛生看護学概論」「健康教育論」、後期に履修する「家族看護学」で学習内容を活用しますので、各回に必要な内容を参照できるように既習の科目資料を整理して準備してください。</p> <p>*1) 「保健師ジャーナル」、「地域保健」などの雑誌は図書館で閲覧できます。</p>